

2011—2012 ガバナー月信

# GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

8



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

国際ロータリー第2510地区  
2011～2012年度 ガバナー 熊澤隆樹

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F  
TEL (011)207-2510 FAX (011)207-2512  
e-mail : rid2510@nifty.com



## 2011-2012年度国際ロータリーテーマ

# 「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」

Reach Within to Embrace Humanity



## 国際ロータリー第2510地区2011-2012年度 地区目標

- I ロータリーの活動を担う新しい会員を増やすこと
- II クラブは(全会員参加型の)新しい奉仕活動を年度内に一つ行うこと
- III まわりの人にロータリーを巧みに語り伝えること

## CONTENTS | 目次

ガバナーメッセージ .....	1
会員増強月間に因んで .....	2
2011-2012年度 地区委員会活動計画 .....	3
地区会員増強セミナー報告 .....	12
2011-2012年度地区大会のご案内 .....	13
毛がにまつりに出店/公式訪問報告/ガバナー・ノミネー候補者推薦のお願い .....	14
例会場等の変更など/新入会員のご紹介/文庫通信 .....	15
地区カレンダー (8月・9月) .....	16



## RI長期計画は会員減少を 止めることができるのか？

国際ロータリー第2510地区

2011-2012年度 ガバナー 熊澤隆樹 (小樽RC)

RI理事会は、RIが世界社会から高いレベルの認識を確保し、維持するためには長期計画が必須であることを確定し、長期計画委員会を設置し、2009年11月には3つの目標を採択しました。ご存知のように①クラブのサポートと強化 ②人道的奉仕の重点化と増加 ③公共イメージと認知度の向上であります。これらの方向づけは、日本以外で十分にロータリーの魅力を訴える力となっていることは、推察できます。一方、日本では、すでに社会的に成功された方のエリートが集まりで始まった東京ロータリークラブと、その後各地で作られたロータリークラブのように奉仕団体としてより、親睦団体の色彩の強いものであったと思われます。そこで、近年のように奉仕団体としての使命がいわれるようになると、社会状況の悪化と共に、ロータリーのひきつける力がより大きな勢いで減少し、相乗的な結果を招いていると思えてなりません。それにしても、ロータリー先進国である日本の会員数の減少は驚くばかりです。しかし、ロータリーの発祥の原点を振り返ってみて、この大きな組織となって発展したロータリーはそんな弱いものではないはずです。

シカゴの四人の仲間の友人からスタート、特に中心となったポール・ハリスの心の中にあつた思いは、その自伝の言葉の中にいろいろ見出せるが、例会に参加することが幼な心に戻れる喜び、そしてそこで生まれる友愛、裏切られることのない信頼、それは私たちが今でも感じる事が出来る貴いものです。とするならば、社会情勢の厳しい中でこそ、よりその価値が増すものであり、そういった仲間を増やすことに私たちは意義を認めるべきではないでしょうか。

私は、バネルジーRI会長の掲げたテーマ「こころの中を見つめよう、博愛を広げるために」を実践するにあたり、私たち一人ひとりの持つ**奉仕の理想 (thoughtfulness of others, helpfulness to others)**、初代事務総長を32年間されたチェスリー・ペリーの言葉)「思いやり」と「助け合い」を自分の中に見出した時、少しでも多くの人にこの思いを持つ仲間が厳しい社会環境であればあるほど増えてほしいと思うはずです。

ロータリアンが高い倫理観を持つ仲間の集団となった時、おのずから評価されることになるでしょう。私も同じ職業仲間が他の人々から高い倫理観を持つ職業人の集まりであると認めてもらいたいという思いで、同じ歯科医師をこれまで四名入会してもらいました。奉仕の理想の実践者である彼らとの仕事上のトラブルは、一度もありませんでした。

会員の皆さんが、業界のリーダーの後継者を是非とも仲間に誘ってあげて下さい。倍増も夢ではありません。

会員増強月間にあたり一言！



## 会員各人が、最低一人に声掛けを!!

地区会員増強委員会

委員長 佐々木正丞

(札幌RC・PG)

今やロータリーは100年の歴史を超えて、200を超える国と地域に3万3,000を超えるクラブと122万人の会員を擁しています。しかし日本においては1996年の13万人をピークにして年々会員減少が続ぎ、2011年3月末には遂に9万人にまで落ち込んでしまいました。この我が国の30%に及ぶ会員減少の異常さは、減少率第2位のオーストラリアの6%を遥かに凌駕しています（反面、隣国の韓国やインドでの会員増加には目を見張るものがあります）。

リーマンショック以降、会員減少は世界中で見られますが、我が国の減少率は既に10年も前から如実に段階的に認められる凋落の酷さであり、日本の経済事情や社会情勢に起因することでは無いことは明白であります。

国際ロータリーの調査によりますと、退会動機の三大原因は、①クラブに指導性がない(68%)。②クラブのあり方に魅力がない(53%)。③クラブのプログラムが充実していない(52%)となっております。

クラブに真に魅力を感じる運営がなされているのかどうか、本業を離れて駆けつけるに足るアドバンテージが感じられる例会であるのか等々、クラブ運営や奉仕活動などについて再考して、クラブのアイデンティティを見直す必要があるのではないのでしょうか。

会員数増加に向けては、「入会に向けての勧誘」と「入会後の維持」という二つの異なる努力が必要であります。近年、会員増強の関心と努力は決して低いものではなく、会員勧誘は前年の減少を上回るほどの勢いでなされております。しかし年度末にはそれを上回る退会者が出るという悲惨な結果になっています。

会員維持の努力傾注に関して、課題があるのではないのでしょうか。

日本でのクラブライフでの魅力が、本来のロータリーの歓びや誇りとは幾分か離れてきているのではないかとの疑念で、会員の満足度を調査し、クラブの再点検をする必要があるのではないのでしょうか。

国際ロータリーが、停滞を続けているクラブ、RIを脱会したクラブ、危機を迎えているクラブを長期にわたって調査・分析をし、「これだけの委員会が頑張ればクラブは必ず蘇生する」という五つの委員会の検討項目を特化して、クラブに示したのがCLPであります（クラブの委員会構成を減らすために、また奉仕活動を蔑ろにし、縮小を狙ったものではありません）。

会員が誇らしく思い、入会希望の若者が憧れるロータリーを如何にすれば構築できるのか、クラブ活性化や会員増強・維持の視点で、CLPの展開を切望する次第であります。

今年度、熊澤ガバナーは、地区目標の一つに「ロータリーの活動を担う新しい会員を増やすこと」を掲げております。会員増強に向けて、クラブ一丸となってこの目標を達成すべく、会員各人が、最低一人に入会の働きかけをされますことをお願い致します。

## ▶▶ 2011-2012年度 地区委員会活動計画 ◀◀

委員長：佐々木正丞（札幌RC・PG）



### 1. 活動方針

今年度、熊澤ガバナーは上期・下期の会員数について2,800名を努力目標としております。

今年度地区目標の第1、ロータリーの活動を担う新しい会員を増やすことを念頭に少なくとも各クラブ純増3名を達成するよう地区委員会は各クラブを支援していきたいと存じます。

### 2. 活動計画

1. 地区会員増強セミナーを7月3日（日）グランドパーク小樽にて開催します。
2. 毎月の会員数を地区と第1ゾーン担当のコーディネーターに報告する。
3. クラブ例会の卓話に依頼があれば講師を派遣する。

会員増強委員会

委員長：酒井正人（函館五稜郭RC・PG）



### 1. 活動方針

状況は厳しいものがあるが、地区としては2005年の函館セントラルロータリークラブが設立されて以来、新クラブ設立の動きが見られないので強く働きかけをして行かなければならない。

### 2. 活動計画

- ①可能性のある地域の情報収集と調査。
- ②広域的にクラブを設立できないか調査（財団学友等）。
- ③可能性のある場合の支援。
- ④終結しそうなクラブへの援助と支援。

拡大委員会

委員長：渡邊恭久（滝川RC・PG）



### 1. 活動方針

国際大会の意義を地区内に伝え、30年振りに日本から選出される田中作次RI会長エレクトを支援する意味も踏まえ、地区から多数参加するよう呼びかけの活動をする。

### 2. 活動計画

ガバナーの理解と協力を得ながら、公式訪問やガバナー月信などを通じて、2012年5月6日から5月9日まで4日間に亘って開催されるバンコクでの国際ロータリー年次大会に多数が参加するよう呼びかけて計画を提示する。

RI国際大会推進委員会

委員長：八木 徹（札幌東RC）



### 1. 活動方針

- ①ロータリーにふさわしい文献・資料の収集、整理を行う。
- ②インターネット利用法を再構築する。

### 2. 活動計画

- ①会員に利用して戴くように広報を工夫する。
- ②インターネットを利用した情報提供。
  - ・広報・IC委員会と協力して行う
- ③大きな震災が起きた時、ロータリー資料のバックアップ的な存在としての確認作業。

文献資料室



委員長：長谷川壽朗（札幌手稲RC）

### 1. 活動方針

熊澤ガバナーの地区としての目標を、ロータリーの原則に照らして、正しく各クラブが認識して戴けるように、他の部門の方々とも必要とあれば連携を取りその任に当たりたい。

### 2. 活動計画

- ①各クラブの活性化の一つの手段としての「クラブ・リーダーシップ・プラン（CLP）」について、その有効性を今一度検証する。
- ②当地区においても会員の減少傾向は明らかであるが、その原因を明らかにするためのベストな方法を研究する。
- ③各クラブの活性化のためには、一つの委員会或いは一つの部門で完結できるものではないと思い、どの委員会又は部門との連携が必要かを検証する。



委員長：堀江和美（砂川IC）

### 1. 活動方針

- ①インターネットを利用して情報交換を行うとともに各クラブに対して必要な情報を効率的に伝達する。
- ②地区ウェブサイトの充実を図る。
- ③クラブのIT化への協力をする。
- ④地区広報に関するありようを模索する。

### 2. 活動計画

- ①メールマガジンの配信
  - ・インターネットを通じて流通する情報や地区内の情報、さらには他地区の有用な情報を速やかにガバナーはじめ地区内の会員に電子メールで配信する。
- ②地区ウェブサイト
  - ・地区からの情報および各グループ、各クラブからの情報を掲載し情報の共有化を進め、ロータリーの広報にも意識した運用を心掛ける。
  - ・各地区委員会と連携して全ての委員会のページを制作し、地区委員会とクラブや会員との距離を近づけるお手伝いをする。
  - ・速報性を生かし月信などの記事をより早くクラブに伝達する。
- ③インターネット活用の普及促進
  - ・RIのホームページやROTARY JAPANのホームページ上にある情報の取得方法や利用方法を紹介する。
  - ・IT化が進んでいるクラブの実例を参考として紹介する。
- ④各クラブ・地区委員会のホームページ作成のお手伝い
  - ・ホームページを立ち上げるための講習会と運用ノウハウ講習会開催を目指して準備を行う。
- ⑤委員会メンバーの相互交流によりレベルアップを図る。
  - ・オンライン（インターネット上）、オフライン（直接会う委員会）で情報交換を行うことにより、お互いのレベルアップを図り、所属グループや各クラブへフィードバックする。



委員長：黒澤勝昭（札幌南RC）



### 1. 活動方針

米山記念奨学会の使命は、「将来、日本と世界を結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成する事」と掲げられております。

これをふまえて、多くの会員の方々に米山奨学事業について、理解を深めていただき、さらには奨学生に援助の手を差し伸べていただけるよう、卓話や交流の機会を増やし、米山奨学事業の意義と感動を理解いただけるよう積極的な活動をしていきたい。

第2510地区一人当たりの寄附額目標 16,000円

〔普通寄附4,000円、特別寄附12,000円〕

### 2. 活動計画

- ①委員会活動がスムーズに行えるよう、年5回程度委員会を開催する。
- ②10月の米山月間に限らず、奨学生をホストしていないクラブを訪問し、奨学生にスピーチをしてもらう。併せてより多くの奨学生を援助できるように寄附のお願いをする。
- ③地区大会はもとより、他団体及び他委員会の行事に積極的に参加し、交流を深める。
- ④地区内奨学生及び学友、多くのロータリアンと家族の交流を深め、国際親善の一助としたい。

米山記念奨学委員会

委員長：大石春雄（札幌はまなすRC）



### 1. 活動方針

米山学友委員会は、米山学友会（北海道）の運営をサポートする事を目的に発足しました。そこで、今年度の活動方針は、学友とロータリアンとの更なる交流、絆を深めるための橋渡し役として活動を続けたいと思います。

学友会最大の行事であります総会・家族懇親会などに、少しでも多くのロータリアンが参加できるよう呼びかけを行い、更に今年度は、財団学友及び財団学友委員にも参加をして頂き、交流を深めたいものと考えます。同世代の交流が深まることにより、日本と米山学友出身国との絆が更に深まる事を願います。

米山学友委員会は、これらの活動を通し国際交流と国際親善の一助としたい。

### 2. 活動計画

- ①米山学友の名簿の更新。
- ②米山学友会員との更なる交流と精神的支援の構築の為、総会並びに家族懇親会に多くのロータリアンの参加を呼びかける。
- ③ロータリー財団学友及び地区財団委員との交流を深めるため、連絡調整を行う。
- ④米山記念奨学委員会主催の行事に参加し、奨学生が修了後の学友会入会を勧める。
- ⑤米山月間に各ロータリークラブを訪問し、卓話を実施する。
- ⑥長沼RCが主催している『国際交流フェスティバル』に米山学友が参加するよう呼びかける。
- ⑦機関誌『米山学友会（北海道）だより』の発行。

米山学友委員会

委員長：山本雅昭（苫小牧北RC）



### 1. 活動方針

2011～2012年度RI会長でありますインド出身のカルヤン・バネルジー会長は今年度テーマとして「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」と言っております。

それに対応してRI2510地区熊澤ガバナースも3つの地区目標を掲げております。そして、挙げられている3つの重点目標の3番目に

**\* まわりの人にロータリーを巧みに語り伝えること \***

と掲げております。これは、ロータリー長期計画の三本柱の一つ「好ましい公共イメージ」を意味しており、その中核となる価値観の一つとして「高潔性」を高めることが求

職業奉仕委員会



められております。これが、指導原理として職業奉仕に科せられている務めではないかと考えられます。

## 2. 活動計画

2011～2012年度地区職業奉仕委員会では、活動計画として、次の様な取り組みを各クラブにお願いできればと思います。

- ①職業上の高潔性・倫理観を高める為、各クラブで独自の形で行動していただき、できれば職業奉仕フォーラム・職業奉仕に関する外部卓話・会員の職業観のお話を聞く場を開催し会員同士での意見交換をしていただければと思います。
- ②ロータリーの綱領に沿った職業奉仕を行なっていただく為に、それを見極める手段として大切な 四つのテスト・職業宣言 をクラブ会員への理解に努めていただきたい。
- ③子どもたちへの出前事業・職場体験に協力していただき、子どもたちの感情に我々の思いを引き継いでいただけるよう協力していただきたい。

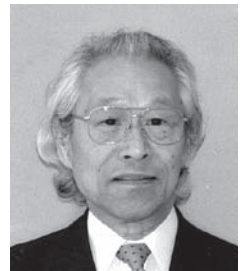
以上により、各クラブにおいては職業奉仕の倫理観を理解し、心の発明に取り組んでいただければと思います。

委員長：阪崎健治朗（札幌西RC）

### 奉仕プロジェクト委員会

## 1. 活動方針

当委員会は、帰属する委員会の統合として位置づけられている。基本的には各委員会の活動が主体であり、責務は各委員長に委ねられている。ただし、横の連携の必要性や情報交換などによる理解の深化が求められるのであれば、各委員長とも調整する役務を負う。また東日本大震災救援奉仕プロジェクト委員会とも連携し、支援協力を行うことも方針に加える。



## 2. 活動計画

- ①帰属する委員会の活動方針や計画は、集約して相互の委員会にフィードバックする。
- ②重要事項に関しては当委員会の委員と協議して行う。
- ③屋上屋を架すことなく、ガバナー年度に2、3回の協議会を開催する。
- ④帰属する委員会から調整や課題があれば集約し、検討する。
- ⑤2013年度からのRI「未来の夢計画」の情報は当委員会のカウンセラーと相談して分析し、将来の道筋を研究する。
- ⑥その他

### 社会奉仕委員会

委員長：清水 哲（札幌東RC）

## 1. 活動方針

当委員会は、ロータリーの原点がクラブに主体性があることを確認し、常にクラブの活動が円滑に推進されるために、何が必要かを考えながらサポートする委員会である。同時にクラブが一層活性化するために、いくつかのヒントを提示し、参考にさせていただけるように積極的な姿勢でのぞみたい。

社会奉仕は重要なロータリーの表現方法であり、新しい空気の注入によって、より活性化に努めていただけるよう様々な情報を伝え、また調査もさせていただきながら、地区とクラブの友情ある関係を深めていく一年にしたい。



## 2. 活動計画

- ①ガバナーは本年度の方針として、三つの地区目標を示された。『1. ロータリーの活動を担う新しい会員を増やすこと 2. 全会員参加型の新しい奉仕活動を年度内に一つ行うこと 3. まわりの人にロータリーを巧みに語り伝えること』である。2は、もちろんのこと他の二つも大きく社会奉仕委員会の活動にかかわりあいをもつ、地区全体の社会奉仕委員会の新鮮で創造的な活動の展開を期待する。
- ②今年度は、いままでの地区社会奉仕委員会主催の『地区ブロック別意見交換会』の活



- 動趣旨を発展させた形として、資料『明日へ』を活用して、クラブの社会奉仕活動の参考としていただける活動を展開したい。
- ③クラブの活性化のためには、使命を終えたプログラムを大胆に終結し、その分新規のプログラムを生み出す意欲に期待したい。ことに地域の問題を注視し、人道的な活動を展開して地域に向けて発信することがまわりの人にロータリーを巧みに語り伝えることであり、新しい会員を増やすことにもつながると信じます。新規のプログラム、すなわち新しいチャレンジから生じる新しい困難に向かって、新しい工夫、新しい交流、新しい感動の共有が生まれ、さらなるロータリー活動の活性化につながるのではないのでしょうか。その一助として『明日へ』を、熟読していただきたい。また、各クラブでの新規プログラムは、地区社会奉仕委員会で検証しながら、『明日へ』に、追加ページとして加えていきたい。
  - ④RID2510大震災救援奉仕プロジェクト委員会に協力します。3月11日に発生した大震災の救援のために急遽設立された委員会活動の一環として、活動内容は未定ではあるが、当委員会メンバーはもちろんのこと、全ロータリアンが協力しましょう。
  - ⑤各クラブの社会奉仕委員長は、『明日へ』を熟読しそのなかにある精神を理解し是非とも自クラブの社会奉仕活動に生かしていただきたい。各クラブの「活動計画書」を地区がまとめホームページに掲載したい。
  - ⑥『明日へ』の電子媒体化はすでに地区のURLに収められているのでご訪問いただきたい。

委員長：手塚貴志（白老RC）



### 1. 活動方針

国際ロータリー長期計画「ロータリーは人類のために活動します」を国際奉仕の基本理念として活動する。

2011年3月11日の東日本大震災に対し、日本を被支援国と位置づけ災害支援を行う。その活動はあくまで人道的支援を軸として行う。

### 2. 活動計画

- ①WCS（世界社会奉仕）委員会は2011年6月末で廃止されたが当地区においてWCSの活動にて築いてきた被支援国、被支援地区ロータリークラブとの関係を基礎として今年度は引続き国際奉仕委員会で継続して行う。
- ②大震災被災国の日本に対し、支援活動を行う。
- ③その支援活動は日本国以外の国と共同で行うことも考慮する。

国際奉仕委員会

委員長：柳 孝一（札幌南RC）



### 1. 活動方針

- ①青少年交換委員会、インターアクト委員会、ローターアクト委員会の各委員会と連携をとり、情報交換を密にいたします。
- ②地区内ロータリークラブに新世代の存在と、その活動を認知・理解をおねがいいたします。
- ③新世代活動を通し、ロータリーの活動を広くロータリー以外に広報・PR活動に努めます。

### 2. 活動計画

- ①（ガバナーの要望があれば）地区大会等の地区内行事で新世代活動プログラムを開催します。
- ②9月「新世代月間」をガバナー月信等で広く地区内クラブに認知と理解深めていただくような活動をします。
- ③地区委員会を複数回開催します。
- ④インターアクト・ローターアクトクラブの新設をお手伝いいたします。

新世代委員会



委員長：蛭名大典（札幌幌南RC）

ローターアクト委員会

1. 活動方針

クラブ数・会員数の減少に歯止めをかけ、充実した活動ができるようなバックアップをする。

現状の会員数での活動に負担が掛からないよう配慮した地区行事や委員会の開催日程や場所を工夫し参加率アップを目指す。

2. 活動計画

- ① インターアクトとの交流を取り入れ会員増強の機会を増やす。まずは地区大会への出席。
- ② 著しく人数が減少しているクラブへ出向き、現役会員同行で卓話、合同例会などを行い提唱クラブでのバックアップを支援する。
- ③ 他地区との情報交換を取り入れ、より良い活動が出来るよう工夫する。
- ④ 震災地域にあるローターアクトクラブとの交流を深め、アクター目線での支援を行う。



委員長：若松 孝（札幌モーニングRC）

インターアクト委員会

1. 活動方針

- ① 提唱クラブとインターアクトクラブの活動をバックアップする。
- ② インターアクトクラブの活動を広く知ってもらうようにする。

2. 活動計画

- ① 提唱クラブとインターアクトクラブの活動をバックアップする意味で、聞き取り調査を行う。
- ② その活動を補完する意味で海外研修旅行を実施する。
- ③ インターアクトの年次大会を開催する。



委員長：渡邊哲則（札幌東RC）

青少年交換委員会

1. 活動方針

青少年交換プログラムは、国際理解推進の機会として推進するという観点から、ロータリアンの子女のみに与えられた特権ではなくて、必要な資格条件を備えた15～19歳の若い人なら誰でも歓迎しています。この青少年交換プログラム長期Ⅰ学年度は、他に類のない最高のプログラムです。このプログラムに多くのクラブが参加して頂けるように、委員会一丸となって協力して行きます。

第17回国際ロータリー日本青少年交換研究会（札幌会議）への全面協力。  
地区新世代委員会、インターアクト・ローターアクト・ライラとの連携。

2. 活動計画

- ① オーストラリア・カナダ・アメリカ・フィンランド4ヶ国（7地区）受入・派遣。
- ② 短期受入・派遣（4週間～6週間）。 ③ 派遣学生壮行会。
- ④ 受入学生歓迎会及び送別会。
- ⑤ 受入学生・派遣候補学生のレクリエーションの実施。
- ⑥ 派遣候補学生のオリエンテーションの実施。 ⑦ 地区行事への参加。
- ⑧ カウンセラーへのオリエンテーションの実施。
- ⑨ 青少年交換プログラム危機管理オリエンテーションの実施。
- ⑩ ROTEX名簿作成。及びROTEXとの交流。 ⑪ 年間15回の委員会。
- ⑫ インターナショナルナイトへの参加。
- ⑬ 新世代交換-18歳～25歳(3週間～3ヶ月)。グループ可。
- ⑭ 17回国際ロータリー日本青少年交換研究会（札幌会議）2012年4月。
- ⑮ 第17回札幌会議実行委員会の開催。



委員長：岩城秀晴（札幌南RC・PG）



### 1. 活動方針

財団の認識を高め、世の善行を行うことが1917年にアーチ・クランフがロータリー財団への基金を創設した基本理念により、その目標を達成しよう。

### 2. 活動計画

- ①財団への「毎年あなたも100ドル」を寄付する。
- ②2011-2012年度、年次寄付の地区目標を30万ドルとします。
- ③恒久基金、使途指定寄付、大口寄付、ポール・ハリス・ソサエティへの協力。
- ④平成23年4月1日より「公益財団法人ロータリー日本財団」への寄付は税制上の優遇措置を受けることになったことの周知に努める。
- ⑤未来の夢計画を理解し、新制度への移行期の2013-14年度には補助金制度を周知させる。
- ⑥各プログラムに積極的に参加する。
- ⑦ロータリーカードへの協力。
- ⑧東日本大震災に対する財団委員会として積極的に参加する。

ロータリー財団委員会

委員長：久保田俊昭（札幌RC）



### 1. 活動方針

- ①補助金の配分について、地区方針を作成すると共に地区関連委員会に指導助言を行う。
- ②補助金について資金活用、資金管理を適切に行う。
- ③各クラブが補助金の参加取得を取得できるよう指導助言を行う。

### 2. 活動計画

- ①2013年度から本格実施される「未来の夢計画」について、2011-12年度は移行準備期間であり、各クラブや地区の関連委員会との連絡調整を密に行う（2011-12年度は従来通りの実施）
- ②「未来の夢計画」でのグローバル補助金を活用する人道的プロジェクトについては、プロジェクト件数が少ないこと、金額が大きいこと等から当委員会で担務する。なお、2011-12年度ではグローバル補助金活用プロジェクトの計画立案を行う（2012-13年度は提案作業、2013-14年度での実施）

補助金委員会

委員長：鍋谷操子（函館セントラルRC）



### 1. 活動方針

- ①財団の寄付の管理運営を図る。
- ②寄付額に対する理解を図り、増進強化に努める。

### 2. 活動計画

- ①毎月ごとの寄付について把握する。
- ②大口寄付者、ポール・ハリス・ソサエティについて推進する。
- ③税制上の優遇措置として、平成22年12月24日内閣総理大臣から公益財団法人ロータリー日本財団の認可を受け、平成23年4月1日から税制上の寄付控除を受けることができるようになったので、より一層の推進に努める。
- ④年度内の1人100ドルの寄付を推進する。

財団資金推進委員会



### 1. 活動方針

- ①地区内のロータリー会員に対して、職業研修委員会事業に関する理解を促進するための活動を積極的に行なう。（卓話なども含め）
- ②本事業における受入派遣交換活動は今年度が最後となるため、派遣団員の研修及び受入プログラムの充実を図り、本事業が充実し効果的になるよう、またより多くのロータリー会員の参画を図り、本事業の効果を広めることができる環境づくりを行なう。
- ③地区におけるロータリー財団の事業を地区内のロータリー会員に理解して頂けるように、ロータリー財団事業に対して協力する。



### 2. 活動計画

- ①当地区団員がRI第1840地区へ派遣までの間、派遣チームリーダーを中心とし、職業研修委員が協力して研修及び派遣計画を実施する。また派遣団員に対して、研修を通じてロータリーへの理解を高めるよう指導する。
- ②2011～12年度の受入派遣相手地区であるドイツ第1840地区との派遣受入に関する国際渉外活動を進めていく。
- ③2011年9月29日～10月29日にRI第1840地区からの派遣団員を受入れる。
- ④2012年4月28日～5月27日にRI第1840地区へチームリーダーと4名の団員を派遣する。
- ⑤RI第1840地区との交換事業に関わる報告書を作成する。

### 1. 活動方針

ロータリー財団の教育プログラムである国際親善奨学金は、国際理解と世界平和を促進するため1947年、初めての奨学生を送り出しました。以来ロータリー国際親善奨学生は、留学先のロータリークラブの会合に出席し、ホスト国の人々に対する親善使節としての役割を期待されています。

当委員会では、こうした奨学生の選考とともに、留学に出発するまでのサポートを行います。一方で今後、大幅に変更されるシステムに対応すべく、準備を進めてまいります。



### 2. 活動計画

- |       |     |   |
|-------|-----|---|
| 2011年 | 7月  | 11-12年度奨学生壮行会<br>12-13年度奨学生第1回オリエンテーション（第1回委員会） |
|       | 8月  | 英文申請書作成指導                                       |
|       | 9月  | 第2回オリエンテーション（第2回委員会）<br>英文申請書、ロータリー財団本部へ送付      |
|       | 12月 | 13-14年度奨学生募集要項・ポスター作成発送（第3回委員会）                 |
| 2012年 | 3月  | 12-13年度奨学生第3回（最終）オリエンテーション（第4回委員会）              |
|       | 4月  | 13-14年度奨学生各クラブへの申請書提出締切<br>各クラブから地区委員会への提出締切    |
|       | 6月  | 書類審査・最終面接選考（第5回委員会）合格発表                         |

委員長：中山裕視（札幌真駒内RC）



### 1. 活動方針

- ①2510地区の各クラブにおいて人道的奉仕活動を積極的に遂行してもらうために、その活動に地区の補助金を有効に活用する。
- ②補助金の使途は人道的奉仕活動に限られる（病人、障害者、子供や老人等々ハンディのある弱者に対する奉仕活動に認める）。また環境保全ということで植樹は認める。そして奉仕活動のニーズと実践の熱意と努力姿勢が顕著なものに補助する（第三者に丸投げすることは不可）。

### 2. 活動計画

- ①所定の用紙に記入して4月末までに次年度ガバナー事務所に提出することが必要（4月末までの提出は注意すべき重要なことです。期限を過ぎた提出については補助金の支給は大変難しくなります）。
- ②提出された内容について審議及び調整をする。そしてロータリー財団が吟味する。
- ③ロータリー財団が吟味した案件を補助金監督委員会と合同で審議・審査をする（10月予定）。
- ④審査した決定案件について年内に各申請クラブの銀行口座に決定補助金額を振り込む。

新地区補助金委員会

委員長：齊藤博司（千歳セントラルRC）



### 1. 活動方針

- ①財団学友会の活動に対する助言と支援。
- ②財団学友のロータリー活動への参加促進。
- ③財団学友に対するロータリークラブ側の理解推進。
- ④財団学友会の広報と啓蒙活動の推進。

### 2. 活動計画

- ①本年度は財団学友会創立10周年の年度でもあり、委員会（打ち合わせ会も含む）開催は通常年度より多い。
- ②第8回財団学友帰国報告会の開催。 ③財団学友のクラブ例会での卓話機会の推進。
- ④財団学友の地区大会への参加ブースの設置。
- ⑤学友ニュースレター発行の支援。No.①-⑤は継続事業です。
- ⑥米山学友委員会との交流促進。前年度は帰国報告会への米山学友委員長の参加、そして当委員会及び財団学友会から米山学友委員会行事への参加。
- ⑦学友のロータリークラブへの入会促進。本年度も1、2名がロータリアンになることが決定しております。
- ⑧財団学友会創立10周年記念式典の開催。
- ⑨地域ボランティアとして学友の語学力を生かしてイベントなどに参加して国際親善を支援する。

財団学友委員会

委員長：愛須一史（札幌はまなすRC）



### 1. 活動方針

各クラブの取り組む種々な奉仕活動に対して、適正妥当な補助金支出がなされるよう、申請案件について慎重かつ丁寧な検討を行う。

### 2. 活動計画

委員会を開催し、個別の申請案件が、補助金支出が相当な人道的支援を内容とする奉仕活動であるかどうかを審議する。

必要に応じ、申請書の補充や活動内容の変更をクラブに促すことによって、可能な限り補助金が有効活用されるよう努める。

補助金監督委員会



## 地区会員増強セミナー報告

国際ロータリー第2510地区

地区幹事 **浜田 健嗣**

(小樽RC)



7月3日日曜日、晴天の中グランドパーク小樽に於きまして地区会員増強セミナーが開催されました。当日は午前11時よりガバナー補佐会議が行われ、熊澤隆樹ガバナーから今年度の目標である「会員増強の協力要請」という力強い冒頭挨拶の後、地区目標・IM・公式訪問・増強セミナーそれぞれの議題について12名のガバナー補佐と活発な意見交換が行われました。

午後からは、各クラブ会長65名、ガバナー補佐、地区役員、地区幹事、オブザーバーを含め総勢90名を超える出席で会員増強セミナーが開催されました。講師は地区会員増強委員会カウンセラーの丸山淳士パスト・ガバナー。「博愛の和を広げるために」のテーマのもと、会員増強する為の個人の資質向上・組織力の向上について、ユーモアを交えながらテンポの良い口調で、1時間があっという間に過ぎ時間が足りないほどの講演でした。

地区会員増強委員長佐々木正丞パスト・ガバナーからは「一人必ずどなたか1名に声を掛けていただくことで会員増強につながります。声を掛けていく事を続けてほしい」とのお話をいただき、その後ガバナー補佐4名の代表者から「現状と対応策の事例」について報告していただきました。意見交換では3名から質問があり、震災義援金の使い道について詳細の確認があり、地区として今後3年間長期的に支援していく旨の説明がありました。

まとめといたしまして地区研修リーダー塚原房樹パスト・ガバナーから会員増強についての手法や思想（マネジメント）を通じロータリーの原点に返り最大の熱意を持って取り組むことで、増強に寄与していけるとの話をいただきました。

閉会にあたり、細川好弘ガバナー・エレクトから1日を振り返り、参加された会員の熱意に感謝を述べられた後、安孫子建雄ガバナー・ノミネーから「この度大役を受けました。今後は皆様のお力をお借りしたい。会員増強についてはお誘いをする為に、日々のロータリーを説明できるよう精進して生活して行きたい」との言葉があり、盛会のうちに会員増強セミナーは定刻に終了しました。





国際ロータリー第2510地区  
2011-2012年度

ホストクラブ 小樽ロータリークラブ

# 地区大会

2011. 10/15 (土) 第1日目 **グランドパーク小樽**  
小樽市築港11番3号 TEL 0134-21-3111

- 13:00 会長・幹事会
- 14:30 地区指導者育成セミナー  
パネルディスカッション
- 18:00 RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会

2011. 10/16 (日) 第2日目 **小樽市民会館大ホール**  
小樽市花園5丁目3番1号 TEL 0134-25-8800  
※懇親会はグランドパーク小樽

- 9:00 本会議
- 13:00 記念講演 藤原正彦氏
- 16:30 記念懇親会 (会場：グランドパーク小樽)
- 18:00 閉会

2011. 9/18 (日) **記念囲碁大会**

会場：日本棋院北海道本部  
囲碁会館

札幌市中央区北4条西5丁目  
アスティ45ビル7F  
TEL 011-219-2340

登録料 **5,000円**

2011. 10/14 (金) **記念ゴルフ大会**

会場：小樽カントリー倶楽部  
新コース

小樽市銭函3丁目73  
TEL 0134-62-5051 (代表)

登録料 **5,000円**

登録料

■ 会員	14,000円
■ ご家族	10,000円
■ 新世代	5,000円
■ RI会長代理ご夫妻晩餐会	10,000円

## 会場ご案内図





クラブ  
報告

## 毛がにまつりに出店

長万部RC幹事 赤塚 章



長万部商工会主催の「毛がにまつり」(平成23年6月25/26日)に出店し、子供達とのふれあいの場をつくり綿菓子、金魚すくいを行い今年度の地区の目標の1つ「全員参加型の新しい奉仕活動」として全会員が露店商に間違われる等チームワークの良さで売り上げを伸ばし、収益金の一部をR12510大震災救援奉仕プロジェクト委員会へ義援金として送りました。当年度最終月(2012年6月)に参加する予定です。

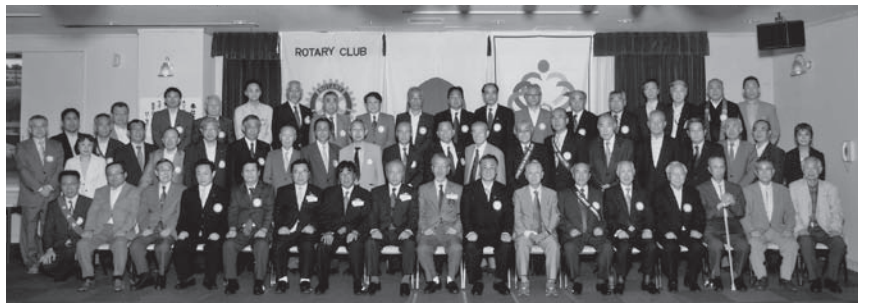
## 公式訪問報告

小樽南ロータリークラブ……7月8日(金)

7月8日(金)、熊澤ガバナー、谷口ガバナー補佐、杉江地区代表幹事、半田ガバナー補佐事務局長をお迎えし、国際ロータリー第2510地区第1回目のガバナー公式訪問が行われました。

当日は、午前10時から会長・副会長・幹事と懇談。また、11時から当クラブ協議会に列席いただき、各委員長から活動方針や事業推進する上での問題点をお話し、熊澤ガバナーよりご指導をいただきました。その後、12時30分からの例会にも参加していただきRI会長による「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」のテーマの主旨説明をはじめ、当クラブの活動に対する期待と激励を込めたご指導をいただきました。

行き届かない面が多々あったと思いますが、最後には参加者全員で公式訪問記念写真におさまり公式訪問は終了いたしました。



## 2014-2015年度 ガバナー・ノミニー候補者推薦のお願い

地区ガバナー 熊澤 隆樹  
地区ガバナー指名委員長 矢橋 温郎

2014-2015年度地区ガバナー・ノミニー候補者として適格な会員があり、地区ガバナー指名委員会の審議を希望する地区内クラブは、12月1日必着にて、地区ガバナー指名委員長(地区ガバナー事務所気付)宛、文書(書式任意)をもってご推薦下さい。

なお、地区ガバナー・ノミニー資格条件については、国際ロータリー細則第15条第7節1項~6項及び第8節の資格条件に適していることを要します。

[参考] 国際ロータリー細則第13条(ガバナーの指名と選挙)  
国際ロータリー第2510地区 地区ガバナー指名委員会規定  
(1998-1999年度地区年次大会決議第8号)



## ■ クラブ例会曜日変更のお知らせ

長万部RC：7月1日より例会曜日が下記の通り変更となりましたので宜しくお願い致します。  
(旧) 毎週水曜日 → (新) 毎週月曜日  
例会場は長万部商工会館、時間は12時10分点鐘で変更ありません。  
毎月第4月曜日は夜間例会で18時点鐘、場所は丸金旅館です。

## ■ クラブ事務所の所在変更について

札幌大通公園RC：7月1日よりクラブ事務所が下記に変更となりました。  
〒064-0954 札幌市中央区宮の森4条10丁目5-8 霜山龍志様方  
電話 090-1308-3626 FAX 011-643-4553  
アドレス shimo\_ryu@nifty.com

## 新入会員の ご紹介 (敬称略)



苫小牧RC  
佐々木隆治  
7月1日入会  
一般建設工事



滝川RC  
鎌仲 政光  
7月7日入会  
建設業



滝川RC  
吉井 裕視  
7月7日入会  
行政代行



苫小牧RC  
一瀬 博美  
7月8日入会  
ガス供給

## 文庫 通信



(286号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。  
ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。  
クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

## 地区大会の講演から

◎ 「日本の歩むべき道」	小泉純一郎	2011	8p (D.2590)
◎ 「日本人のわすれもの」	櫻井よしこ	2011	2p (D.2690)
◎ 「日本経済復活のキーワード “グローバルセンス”」	財部 誠一	2011	3p (D.2760)
◎ 「地域の繁栄は国の繁栄」	金 美齢	2011	2p (D.2630)
◎ 「私とスペシャルオリンピックス活動」	有森 裕子	2011	6p (D.2750第30回インターアクトクラブ年次大会)
◎ 「変わりつつあるロータリー」	江崎 柳節	2011	3p (D.2760)
◎ 「ロータリー財団の方向性」	川尻 政輝	2010	5p (D.2780)
◎ 「CLPとクラブ活動について」	松宮 剛	2010	9p (D.2780)
◎ 「津波が変えた私の人生」	道下 俊一	2008	10p (D.2780)

上記申込先：ロータリー文庫【コピー／PDF】



## 地区カレンダー（8月・9月）

8月 会員増強月間		9月 新世代のための月間	
1(月)	公式訪問(蘭越RC)	1(木)	公式訪問(札幌西北RC)
2(火)		2(金)	
3(水)		3(土)	
4(木)		4(日)	
5(金)		5(月)	
6(土)	2012-13青少年交換学生選考試験(札幌)	6(火)	公式訪問(深川RC、妹背牛RC)
7(日)		7(水)	公式訪問(留萌RC)
8(月)		8(木)	~9(金) 第1回ガバナー・エレクト研修セミナー(東京) 公式訪問(羽幌RC)
9(火)	公式訪問(札幌はまなすRC)	9(金)	
10(水)	公式訪問(倶知安RC)	10(土)	~11(日) 地区親睦野球大会(滝川)
11(木)	公式訪問(小樽銭函RC、由仁RC)	11(日)	
12(金)		12(月)	公式訪問(札幌北RC)
13(土)		13(火)	2012-13地区研修リーダーセミナー(東京) 公式訪問(岩見沢東RC)
14(日)		14(水)	公式訪問(札幌モーニングRC)
15(月)		15(木)	公式訪問(江別RC)
16(火)		16(金)	
17(水)		17(土)	米山奨学生研修旅行
18(木)	公式訪問(千歳RC)	18(日)	地区大会記念囲碁大会(札幌)
19(金)	公式訪問(苫小牧RC)	19(月)	敬老の日
20(土)		20(火)	公式訪問(室蘭北RC)
21(日)		21(水)	公式訪問(登別RC)
22(月)	公式訪問(函館亀田RC)	22(木)	公式訪問(洞爺湖RC)
23(火)	公式訪問(江差RC、函館セントラルRC)	23(金)	秋分の日
24(水)	公式訪問(森RC、函館北RC)	24(土)	
25(木)	公式訪問(函館RC)	25(日)	
26(金)	公式訪問(札幌大通公園RC)	26(月)	公式訪問(静内RC)
27(土)	青少年交換学生歓迎会他(札幌)	27(火)	公式訪問(浦河RC、様似RC)
28(日)		28(水)	公式訪問(三石RC)
29(月)		29(木)	公式訪問(えりもRC) 第1840地区(ドイツ)よりGSEチーム受入
30(火)	公式訪問(当別RC) 財ロータリー-米山記念奨学会評議員会(東京)	30(金)	
31(水)	公式訪問(新札幌RC)		

2011年8月のロータリーレート 1ドル80円

#### 小樽でも有数の景勝地、オタモイ海岸

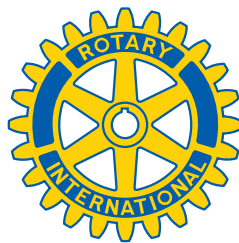
昭和7年 小樽市内で割烹「蛇の目寿司」を経営していた加藤秋太郎がこの地に「白蛇弁天堂」を建立。続いて130人収容の「弁天閣」という食堂を建立。更に断崖絶壁に「龍宮閣」という料亭を建設。その他演芸場、相撲場を作り、総工費27万円（当時としては大変な金額）を私財で賄ったという。

こうしてオタモイ遊園地がオープン。北海道有数の観光スポットとなった。しかし、戦争の勃発で営業中止となり、戦後再開するも、昭和27年龍宮閣が火災に会い、その他の施設も次々に姿を消し、オタモイ遊園地はこの世から消えた。しかし、その雄大な景色は今も人々の心を和ませてくれている。

かたあき | 秋



表紙絵：私の残したい小樽シリーズ  
「オタモイの朝」 HEISHIRO.K



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

**ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510**

**2011—2012**

**GOVERNOR**

**TAKAKI KUMAZAWA**